



議会だより

No.55
H30.2.15発行

あさぎ町議会

検索



通年議案
第5・6回会議

平成29年度一般会計補正予算…2～3P
一般質問に14人が登壇……………4～10P
議会報告会……………13P
特集号 第4回中学生一日議会(別冊)

未来を担う中学生議員と一緒に

第5回
会 議

平成29年度 補正予算(第5号)専決処分した報告

歳入・歳出それぞれ760万1千円を追加し

総額 108億2,826万円

主な内容 ●衆議院議員総選挙費 …………… 760万1千円

第5回会議が11月10日一日限りで開催され、議案2件、報告1件を審議し可決した。

第6回
会 議

平成29年度 補正予算(第6号)

歳入・歳出それぞれ1,705万2千円を追加し

総額 108億4,531万2千円

主な内容 ●地域福祉拠点施設整備計画策定支援業務委託料
(ふれあい福祉センターの再生計画) …………… 160万円
●産地パワーアップ事業(いちご、茶 関連機械) …… 480万1千円
●熊本県人事委員会勧告による一般職員の給料・
勤勉手当の改定に伴う増額 …………… 1,593万3千円

第6回会議が12月12日から15日までの4日間の日程で開催された。議案15件、認定1件、請願1件、陳情2件、発議1件を審議しいずれも可決した。

◆第5回会議 表決一覧(抜粋)

議案名	議員名	市岡	難波	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	豊永	永井	皆越	小見田	奥田	久保田	溝口	徳永
ヘルシーランド改修工事(建築工事・機械設備工事)請負契約の締結について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◆第6回会議 表決一覧(抜粋)

議案名	議員名	市岡	難波	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	豊永	永井	皆越	小見田	奥田	久保田	溝口	徳永
あさぎり町農業委員会委員の定数条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町出生祝い金支給条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度あさぎり町上財産区特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
「齊堂地区の百太郎溝に架かる橋と周辺の早期改良」及び「町道環状線(永岡～齊堂線)の早期改良」の要望について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
「町道別府線の危険箇所改良整備要望書」について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

条例の制定 及び 改正

抜粋

議案第 33 号

あさぎり町農業委員会委員の定数条例の制定について

あさぎり町農業委員の定数は、26 人とするため条例の制定をするもの。

議案第 37 号

あさぎり町出生祝い金支給条例の一部を改正する条例の制定について

受給資格要件を見直し、「6 箇月」を「1 年」に改めるための条例の一部を改正するもの。

議案第 40 号

あさぎり町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について

平成30年 4 月 1 日より、超過料金を135円/m³に改定するための本条例の一部を改正するもの。

いずれも **可決!**

請 願 書

請願第 9 号 「あさぎり町防災対策基本条例の制定について」の請願について

熊本地震が発生し、災害が身近な問題であるということを再認識し、町と町民等との役割分担、基本理念を条例化することで町民が安心して暮らすことのできる災害に強い地域社会を築き上げることが目的。
審議し討論の結果「採択」と可決決定した。

陳 情 書

陳情第 3 号 「齊堂地区(岡原南)の百太郎溝にかかる橋と周辺の早期改良」及び「町道環状線の早期改良」の要望について

橋梁の幅員確保については費用対効果に鑑み、離合可能な範囲で架け替えることで採択し、他については、緊急性等比較検討の結果不採択とした。

陳情第 6 号 「町道別府線(上北神殿原百太郎溝沿い)の危険箇所改良整備要望書」について

交通事故防止のための幅員確保、安全施設設置等の対策を講じる必要があるとして、採択とした。

意 見 書

発議 4 号 道路整備事業予算の総額確保に関する意見書について

道路は、地域の発展や経済社会活動を支える最も重要な社会基盤であるとともに、国土の防災・減災に寄与するものであり、本町においても道路整備は不可欠であるので「地方創生」へ影響が生じることから引き続き、現行制度の継続を強く要望するものである。

14人が登壇

責任においてそのまま掲載とします。

問 大転換の米政策への対応は



永井 英治 議員

永井 平成30年度、国からの米の生産数量目標の配分がなくなる。町長として、また農業再生協議会の会長としてこの事をどのように捉えられているか。

町長 日本の農業の大きな変換点であると考えるが、水田は地方の農村の景観や生態系の維持に大きく寄与していると思っ

ている。今回の米政策の変化によって水田の持つ様々な機能が損なわれないうように、状況を見ながら対策を講ずる必要があると考える。

永井 国は平成30年度も生産数量目標を735万



変わる米政策

トンとしている。国からの配分はなくなるが、生産数量目標を達成するために、町としてはどういう関わり方をするのか。

農業振興課長 熊本県では、農業再生協議会の中で生産目標に代わる目安を示す事となる。県内の市町村でもこれまでの数量割り当てについては大きく変わる事はな

問 女性消防隊及び機能別分団の今後の拡充は



市岡 貴純 議員

市岡 年々変化する環境の中で、今後消防団はもとより、女性消防隊及び機能別分団の活動がさらに重要視されるが、今後の啓発・育成・維持にどう取り組み、努めていくのか問う。

町長 女性消防隊は結成から5年が経ち期待以上の活動をして頂いている。

総務課長 現在の隊員は19名、火災予防週間、年末特別警戒等消防団と共に巡回広報活動、また保育園などでも、紙芝居等を使って防火思想の普及啓発を実施している。今後も女性消防隊の役割をどう担うか協議、意見交換、情報収集をし、目的達成を目指し模索していく。



今後も活躍が期待される女性消防隊

町長 機能別団員においても、火災時の初期消火、後方支援等の活動をして頂き非常に大事な役割を持つ。今後より一層機能別団員の位置付けを明確にしな

がら、人員の増加を目指して取り組む。

総務課長 区長を初めとした地域の方々に機能別団員の重要性をお伝えしながら、さらに必要な団員を確保する為の方法を取り入れていく。

一般質問

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する。

※一般質問の文章については、質問者の

問 国民健康保険制度改革後は

豊永 高齢や低所得の加入者が多い国民健康保険（国保）の運営を今年4月、市区町村から都道府県に移管される。国保が抱える構造的な課題として、年齢が高く、医療費水準が高い、所得水準が低い、保険料負担が重い等があるが、制度改革の2本柱として、国の財政支援の拡充、県が国保の運営に中心的役割を果たすとなっているが、具体的にどう変わっていくのか、現状と改革後を問う。



豊永 喜一 議員



て保険税を徴収することは変わらない。医療費の給付も市町村が行う。健康づくり事業とかの保健事業、健診、出産育児一時金の支給とか市町村がやることに変わりはない。

豊永 保険料を下げる為の対策は、**副町長** まだ具体的に示せないが、標準保険料率が示されたら、基金の5億円を含めて保険料の調整に充てる等、検討していくのも一つの方法。

その他の質問

○変わるコメ対策について

問 町の防災に対する取り組みは

小出 町の防災訓練があり今年も人吉盆地南縁断層地震を想定した訓練が、約4500人の参加で行われた。7月には、福岡・大分で九州北部豪雨という短時間に記録的な大雨の災害も発生した。これを教訓として地震だけでなく、一度専門家の方に土質とか、その地域の状況等、町内を調査してもらい、それに基づきあざぎり町の地域防災計画書の土砂災害予防計画書の見直しとか、大雨を想定とした訓練等も必要ではないかと思うが。

総務課長 九州北部豪雨は、線状降水帯によるもので、どこで起きるかかわらないと言われてる。このことを踏まえて今年度の防災計画の中の避難訓練、



小出 高明 議員



線状降水帯による災害状況

避難を呼びかけるタイミングについても見直しを行う。

小出 人命が一番大切だと思う。熊本地震、九州北部豪雨災害を忘れることなく、行政、また、町民の方一人一人の今以上の防災意識を高めることが必要だと思う。

町長 もう一步踏み込んで、現実的な避難訓練等もやっていくように取り組んでいく。

その他の質問

○町の農業振興について

問 住民協働で花いっぱい運動への取り組みは



加賀山 瑞津子 議員

加賀山 町内でも花づくりに取り組んでもらっているが、南稜高校とのコラボで生徒さん達に苗づくりの先生をお願いして地域の方と交流を図ったり、地域の子供たちにも参加してもらい花いっぱい運動に取り組んでみてはどうか。

商工観光課長 公共施設、花だんの苗は育苗ハウスで作っているが、更に良い花づくりという上では、今後学校とも協議を進めながら検討していきたい。

加賀山 あさぎり町地域活性化交付金事業の概要に「環境美化」の文言があるが、それぞれの地域が花いっぱい運動に取り組むチャンスでは。また、景観に配慮したガイドパイプ（茶色）等の検討は出来ないか。



永年続く花づくり活動（内山地区）

建設林業課長 景観対応色のガイドパイプも従来の白色と金額的には余り変わらない。ある程度まわって設置が必要な箇所については今後出来るような方向で進めたい。

町長 この交付金の意味は大きいと思っている。役場職員も一緒になって地域にとけこんでいくことの目的もある。花を地区で植えることは大事なソフトの取り組みだ。ぜひやっていきたい。

問 子ども民生委員設置の考えは



皆越 てる子 議員

皆越 県内において子ども民生委員と

名づけ、社会福祉協議会会長より、委嘱状の交付を受け、学校・社会福祉協議会・地区の民生委員さん方と連携を図り、活動されている状況を知り、本町でも是非取り組んで頂きたい。把握されておられる現状を問う。

生活福祉課長 県内では、熊本市・天草市・産山村で、小学校の教育総合学習の中で、民生委員の活動を学習されたことが始まりで、天草では社協が主体となり活動されておられる。

教育課長 各学校において、高齢者の方々との交流はあっているが、民生委員さんを交えての活動は行われていないのが現状である。

皆越 天草市子ども民生委員委嘱状の

交付状況・認知症サポーター養成講座の開催・メッセージカード・花苗配布・民生委員さんとのマップ作り・天草市子ども民生委員信条の朗読・くまモンデザインの缶バッジ等取り組みがあるが。

町長 子どもの時期から、人々との交流を培う大事な取り組みで、民生委員さんの理解を得、教育委員会との連携を図り、充分議論し方向性を考えていく。



くまモンデザインの缶バッジ
天草市子ども民生委員の証!!

ほくも わたしも



問 空き家活用による地区の再生は

橋本 人口減少が進み空き家は約500件近くあり、景観・治安衛生・防災など不利益を起すので、対策が必要だ。空き家所有者の意識が最も重要で、遠方に住んでいる例も多いことから、集落や区単位で空き家を生かしたまちづくりに取り組むことで、イメージアップや魅力の低下を防ぐことになる。

町長 空き家は今後も増えていく状況であり、人が住まなく傷んだ建物は倒壊の恐れがある。今後どうするのか大事な取り組みだ。

橋本 空き家の中には、小規模修繕で使用できる建物や石蔵・古民家などの魅力ある建物もあり、賑わいの創出や地域の絆の再生につながる重要なポイントだ。手軽に利用し、人と人との交流が生まれる。地域の暮らしを体験できる。



空き家バンクに登録された物件

地域住民に役立つ視点にたつての活用策は。

商工観光課長 空き家バンクの開設、個人住宅のリフォーム制度や移住者に移住奨励金の制度をPRし、空き家の活用につなげたい。

町長 町の活力を損なわないように空き家活用を検討したい。

その他の質問

○県営清願寺ダムの小水力発電への取り組みについて

問 避難所の電力確保等の整備は

奥田 避難所の建物もしくは敷地内に太陽光発電を設置して災害時でも停電しない対策はとれないか。先ほど、発電機の設置を伺ったが、駐車場の街灯もあるが、太陽光発電を備えた街灯もあると思う。価格の面ではかなり高価であると聞いている。例えば太陽光発電を避難場所の設置して、それで街灯まで賄うような対策はできないか伺う。

総務課長 発電機については年次計画で整備していく。またあわせて、電力、電源の確保は重要な課題として受けとめているので、ほかにリース会社の提携であったり、町内建設業者の方との協定締結、または自治体間の広域協定等々も考えていきたい。既に協定



避難場所に指定されている「もみじ館」

も結んでいるものがある。今後、質問の太陽光を利用した電源の確保については発電機のほうでまずは考えている。小学校については、太陽光のパネルが設置しており、それを災害時の電力に活用することについては、改めて検証していく。

その他の質問

○空き家対策について



奥田 公人 議員

問 平和教育を更に充実させる取組みは



老朽化した忠霊塔

生活福祉課長 地区合計344名。慰霊碑の清掃や研修など実績報告が出ている。

難波 各地区に点在している慰霊碑が劣化している。高齢化した遺族会の現状を考慮して1カ所に集合させることを早急に検討すべき



難波 文美 議員

難波 愛する家族や先祖代々受け継いできた美しい自然と豊かな国土の安寧を祈り散華された方々の思いをどのような平和教育で伝えていくのか。

教育課長 小学校では被爆地の長崎に修学旅行、中学校では国語や社会の授業の中で行っている。

難波 5地区の戦没者遺族会の状況は。



清掃に手がかかる落ち葉

○新設南稜高校に対する取組みについて

その他の質問

町長 映像や動画も子供の教育に十分資する一つの考えだと思う。

だ。戦没者の遺品を生涯学習センターに保存展示する取り組みは。

教育課長 遺品の収集規模がわからないので検討が必要。

難波 『教育は世の中を変えるために使える最強の武器である』遺族会と話し合い、国を守る本質や道徳心を醸成するためにも民具や遺品などあらゆる世代が時代の流れを実感できるような環境を整えるべきではないか。

一般質問

問

民間から町づくり提案への取り組みは



徳永 正道 議員

徳永 民間の方が資金を提供し町づくりを専門的に行っている会社に依頼をし、町に活性化プロジェクトチームを設置、五十数名の参加によるワークショップを開催、意見の集約を図り町に提案がされた。町長は提案をどのように受け止め今後の町づくりに活用されるのか、感想と合わせて伺いたい。

町長 本町出身の方が、こういう形で町に元気の出る応援をして頂くことに感謝している。この気持ちを大事にしっかりと受け止めたい。

徳永 提案内容については、くま川鉄道沿線を活かした取り組みもあるようだが、おかげで幸福駅については、観光的要素を含んでいる場所だと思う。指定管理のあり方については、募集方



民間の声を町へ

法として、全国にネット発信をして、専門的に取り組める指定管理の仕組みを提案したい。

商工観光課長 ホームページ上に公募したいと考えている。

徳永 フットパスについても散策する人への周辺環境整備も必要ではないか。

農業振興課長 多面的事業で考えた

問

自主防災組織のリーダーとなる 防災士の養成は

森岡 平常時からの、災害時の情報収集伝達避難や、警戒避難体制の整備、防災資機材の備蓄や、大規模災害時を想定した防災訓練をすることは大切であるが、各地区の防災組織の機能強化と、防災リーダーの育成は、急務と考える。よって、本町も災害に強い町づくりのため、防災士資格取得に対して、助成制度を制定すべきである。

町長 自主防災組織の体制整備と、組織を担う人材の育成は急務であり、その重要性は本当に認識している。

総務課長 町に現在9名の防災士がいる。今後、防災士を地域防災組織のリーダーとし、町の防災施策のコーディネーターとして、町の防災リーダーとして担って頂く体制作りを検討しており、防災士養成への支援についても併せて検討する。



「タイムライン」の研修

その他の質問

○地域の継続的発展のための文化財の保存活用について



森岡 勉 議員

問 仮称「集落活動センター」設置の構想は

小見田 担い手の高齢化、後継者不足からくる農業生産額はもとより、集落機能の低下への対応策と集落営農の法人化や、産業・生活インフラ保全に関する事業、また地域活性化交付金事業も同一のものとして捉えている。財源の効率化のためにも、全庁的取り組みとしての構想を練るべきではないか。全国的先進事例として地域運営組織（集落活動センター）設置による集落機能強化事業が増えてきている。今後の集落営農のあり方と集落機能強化策についての考えを伺う。

農業振興課長 集落営農の法人化



大雨から集落を守ろう

に向け取り組んでいるが、町内には優良な農家も多く、押し迫ったものとしての認識が薄いので、まずは農家の本音を引き出すことが重要と思っている。

町長 現在、集落営農のみでは難しいので、集落機能的組織も長期的に取り組み価値を感じる。

小見田 集落を担う人づくりが何より大切と考えるが、人材育成策は。

町長 子供達が地元に残るため、各教育機関とも連携して「地域でも頑張る」といった「土壌」を創っていききたい。



小見田 和行 議員

問 不動産にかかわる諸問題は



久保 尚人 議員

久保 人口減少が著しい地方では不動産が価値のないものと認識されはじめたため我が町でも寄附の申し出が多いと聞かす。

総務課長 年々増加の傾向であるが町の基本方針として利活用できない土地・建物等は維持管理経費が増大することから断っている。受ける場合は条例・規則等の規定はないので町長との協議で決定をしている。

あさぎり町公有財産利活用審議会条例(抜粋)(設置)

第1条 町長の諮問に応じ、公有財産(立木を除く不動産に限る。)の効率的な運用を図るため、財産の取得、管理及び処分に関する基本方針その他公有財産に関する重要事項(以下「公有財産の利活用」という。)について審議することを目的として、あさぎり町公有財産利活用審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(諮問及び答申)

第2条 町長は、公有財産の利活用に関し、次の各号に掲げる事項について審議会の意見を聴くものとする。

- (1) 公有財産の取得、管理及び処分に関する基本方針
 - (2) 1件につき価額700万円を超える不動産の買入れ又は売払に関する事項
 - (3) 1件につき価額700万円を超える不動産の買入れ又は売り払う場合の対価の評価に関する事項
 - (4) その他町長が必要と認める事項
- 2 審議会は、町長の諮問に応じ、公有財産の利活用について調査審議し答申するものとする。

用価値のない土地を町に押しつけることも不可能ではない。そのような誤った判断がされないように、公共的な利用価値を確かめるためにもあさぎり町公有財産利活用審議会への諮問が必要となってくるのではないかと。今後は、売買、寄附、賃貸借も含めたところで、町民の皆さんが納得できる公正な開かれた手続で進めていくべき。

総務課長 今後は利活用が見込めるものは審議会に諮問し、目的、理由、効果等を審議答申いただくものと考え、賃貸借においては、賃貸借の目的、内容によって、審議会にはかかるべき事案かを判断していきたい。

問 合併のメリット・デメリット等の検証を



溝口 峰男 議員

溝口 合併して15年になる。どれほどの町民が合併して良かったと感じているか。旧町村ごとに合併のメリット、デメリットがどのように表れているのか等の検証を実施して、そのデータを基に10年後20年後のまちづくりを生かしていくことは大変重要なことと考えるが、検証を行う考えはないか。

町長 検証しそのデータを見ることは重要である。どのような方法で実施するのか検討させていただきたい。

溝口 地域間格差が生じているが、どのような対策を講じるのか。

町長 地域に職員を配置して、地域活性化交付金を活用し皆で自分の地域が活性化できるように取り組みをやっていききたい。

溝口 活気ある地域づくりのために、地域おこし協力隊の増員ができないか。

町長 来年度、増員を検討したい。

溝口 通行止めとなっているヘルシーランド裏に架かる吊り橋(石田橋)の修理はできないか。

町長 修理する方向で進める。

その他の質問

○若者交流の場として、ポップコンシアター(映画館)開設の為の研究を!



通行止め解除が待たれる吊り橋(石田橋)

健康で和やかな年でありますよう

あさぎり町議会議長 山口 和幸

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げますとともに、日ごろから議会活動に温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は線状降水帯が形成され、同じ場所に猛烈な雨を継続して降らせ、短時間記録的大雨による災害が発生しており、7月の九州北部豪雨は甚大なる大災害となりました。熊本地震でも体感しておりますが、自然災害の怖さ・悲惨さを更に改めて感じており、被災地の一日も早い復旧・復興を祈りつつ、災害に強い地域づくりを早急に進めるよう努めてまいります。

地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本とし

て、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする地方自治法が施行されて70周年を迎えました。地域の発展なくして、国の発展はなしの政府の方針を受け、全国の自治体は創意工夫を生かした施策を盛り込んだ地方版総合戦略等により、地方創生に本格的な事業展開を取り組んでおります。

議会としても、地域住民の代表として、決意を新たに、その責務の重大さを深く自覚し、創造性に富んだ地域社会の構築と、町自治進展のため、全力で取り組んでまいります。

本年が皆様にとりまして、健康で和やかな年になりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のあいさつと致します。



年頭にあたり決意を新たにすあさぎり町議会議員

福井県・大阪府行政視察研修報告

平成29年9月25・26・27日

○JA越前たけふ（福井県）

農協改革が叫ばれる昨今、JAたけふは、将来の農業・農村の諸課題に対応すべく、自ら単独の農協としての機構改革を逸早く平成25年にスタートさせている。目指すところは「JAの原点・各事業部門の完全黒字化」であり、米の生産流通販売改革・事業所再編・事業体制の見直し・経済事業の子会社への譲渡等の主要事業も推進中である。中でも特筆したいのは、米の販売を従来の経済連経由販売から直接販売を実施。海外市場への挑戦もされている。また、農家のコスト低減に寄与するた



ブランド米のキャラクター越前しきぶ姫

め、自主企画商品開発にも力を注がれ、オリジナル肥料も豊富に揃っている。中でも「ミネラルPK」という肥料の原料（家畜糞の燃焼灰）の仕入交渉にも、組合長自ら宮崎県都市へ直接足を運ばれたとのことであつた。

全中・全農への依存率を下げ、単独農協のフットワークの軽さを武器に生き残りをかけるJAたけふ。全国的にはJAの異端児と呼ばれているそうだが、組合長の「農協改革は組織改革より意識改革である」という実感のこもった言葉に、将来のJAのあり方、農村振興のヒントを垣間見た気がした。

○尾家産業株式会社（大阪府）

あさぎり町（免田地区）出身の尾家会長より、創業70周年を迎えた総合食品商社の軌跡とこれからの食に関係する業界について提言を頂いた。国内46都道府県に拠点を置き、



尾家産業株式会社にて

主要取引先である全国展開外食チェーン（ホテル・ファミリーレストラン・居酒屋・専門店など）に対応されている。また、総菜や弁当、社員食堂、病院や介護施設の給食分野にも食材のみならず厨房用品の提供など幅広い事業展開をされ環境と健康に特化したプライベートブランド商品の開発も進められている。

価格面、品質面、機能面で顧客のニーズに合った「食」の提供をすることで利用者満足度を第一に考えて開発に注力しておられる。大切なのは常に顧客目線の仕事をするということだと強調された。これから100年企業を目指していく上で国内外の大き

な変化が予想される。不易流行の精神で「変わらないもの」と「変えていくもの」を選別するセンスは企業だけではなく行政の場でも十分に必要なことである。先見性を持ったリーダーシップを発揮して挑戦を続け、長い間上場企業の勢いを保ってきた先駆者の姿勢に学ぶところは大きい。

○熊本県大阪事務所（大阪府）

『関西発・熊本の創造的復興に向けた取組み』と銘打って、大手コンビニエンスストア2階に熊本県産品の売り場を設けるなど効果的なPR活動を展開されていた。



説明する熊本県職員（大阪事務所）

議会報告会

1月25日午後7時からポッポ一館において、全町民を対象に議会報告会を開催

議会活性化特別委員会委員長 小見田 和行

議会基本条例に基づき議会の説明責任を果たすとともに、町民の意見を聴取し議会運営の改善を図ろうと、毎年議会報告会・意見交換会を開催している。平成23年度から始めた報告会も今回で第8回である。以前は一般の町民の皆さんの参加が少なく、いかにしたら多くの方に参加していただけるか議員全員で協議を重ねてきた。今回については委員会の通常の報告と合わせ、議会内部での永年の懸案事項である「議場移転」また「議員定数・報酬」についても町民の意見をお聞かせ願うということで回覧も行い、公共施設等にもビラを掲示した。厳寒の夜ながら44名の参加があった事は誠に感謝申し上げたい。

今後は皆様のご意見を特別委員会で精査し、その内容については次号以降の「議会だより」等でお伝えしたい。そして何よりも皆様の「声」を町政に活かせるように努力する所存である。

今後とも「声」をお寄せください。



永井委員長による総務文教常任委員会報告

議場へきれいなお花を ありがとうございます

第6回会議（12月会議）
において、JAKま女性部
あさぎり支部の皆さんよ
り、秋の収穫の感謝を表す
農の生花を飾っていただき
ました。
また、あさぎり町商工会
女性部の皆さんより、きれ
いなお花を頂きありがと
うございました。

ヘルシーランド及びふるさと振興社 調査特別委員会

＜第7回開催＞

ふるさと振興社役員
との意見交換会

○12月1日（金）

現在、あさぎり町が指定
管理しているふるさと振興
社の社長、取締役の方々
との意見交換会を行い、今
後同社のあり方を進める上
での話し合いを行った。全
役員の総意として存続と
し、今後の計画等の意見を
伺った。このことに対し、
特別委員会としても、今後
の事業計画を精査し、本年
度内に結論を出すこととし
た。

常任委員会及び一部事務組合報告

総務文教常任委員会

○11月14日（火）

長崎県吉岐市議会にて、タブレットの導入についての研修

平成27年11月タブレット端末及び文書共有システムを導入し、行政事務の効率化、議会のスケジュール管理及び情報の共有化が図られている。

研修後、11月29日の本委員会において、「本町議会もタブレットを導入すべき」との結論にいたった。

○11月15日（水）

福岡県八女市にて、地域おこし協力隊についての研修

八女市協力隊員7名は、観光振興・移住体験施設の立ち上げ・イベント等の企画・さらには林業の担い手として活動されており、これまで隊員を卒業された6名のうち5名が市内に定住または市内で事業を展開されている。

本町でも、この事業は拡大させるべき様々な可能性を秘めた事業である。



八女市役所にて

○11月29日（水）

交通安全推進会議の取り組みについての調査

事業主体が県の危険箇所については、町と議会が一緒になって県に要望するべきとの意見。

付託案件「あさぎり町防災基本条例の制定について」の審査。

結果は「採択すべきもの」とした。

建設・経済常任委員会

○10月4日（水）

おかどめ幸福駅売店改修工事の進捗状況について他1件

○11月1日（水）

農業委員会法改正について他3件

○11月6日（月）～8日（水）

委員会視察研修

今回、町の中心地である駅前開発の一つである賑わいの拠点づくりの先進地事例を視察研修した。まず、民営民営として山口県萩市の道の駅「萩しーまーと」は国交省の「全国モデル道の駅」に選定されており、地産地消にこだわり、年間約10億円を売上げている。事業主体は、13事業所の協同組合でマーケティングの徹底、地域への貢献をモットーに実践していた。

福岡県芦屋町のスーパー「はまゆう」は、数回の公募の未設置された公設民営のスーパーで、後継者不足等で中心部の空洞化、買物弱者対策

として町が主導して進められた。建設費用は、事業者が15年間で償還するもので、巡回バスの運行も社協に委託して行われていた。

また、昨年7月の九州北部豪雨災害地の朝倉市の復旧復興の状況を視察した。中山間部の中小河川沿いの被災現場を目の当たりにして想像を絶する大災害であったことを思い知らされた。私達のあさぎり町でも、いつ・どこで起きるか分からない。我々は、大自然の中で生かされていることを忘れてならないことを再認識する機会であった。



九州北部豪雨災害の状況（朝倉市）

厚生常任委員会

○10月2日（月）

第5期あさぎり町福祉計画及び第一期障がい児福祉計画について

平成29年度は第4期障がい者福祉計画の最終年度となっており、今年度中に第5期障がい者福祉計画（H30～32年度）、第一期障がい児福祉計画（H30～32年度）を策定する。
国民健康保険制度改革について

改革の2本柱として、平成30年度から①国の財政支援の拡充、②県が国保の運営に中心的役割を果たす（国保の財政運営責任等の都道府県移行）改革後は、県が財政運営等の中心的役割を担う。

○10月3日（火）

あさぎり町温泉施設再編に伴う視察
研修

＊大野温泉センター
＊甲佐町フィットネスセンター

○10月31日（火）

あさぎり町「ふれあい福祉センター」

再編等に係る意見聴取について

あさぎり町ふれあい福祉センター施設の今後の方針に基づき、事業をより良いものにするために、あさぎり町温泉施設再編に係る検討作業部会において、岡原地域からの意見を聴取する。

○11月29日（水）

あさぎり町出生祝い金支給条例の一部を改正する条例の制定について

受給資格要件について出生児の養育者は、出産日においてあさぎり町に住所を有する者とし、祝い金支給申請については、出産日から起算して一年以内とする。



浴室を改修したフィットネスセンター（甲佐町）

上球磨消防組合議会

○12月4日（月）

第2回定例会が開催され、報告1件、承認3件、議案3件、認定1件を原案通り全会一致で可決した。平成28年度一般会計決算では歳入総額5億4,086万2千円、歳出総額5億1,552万3千円とし、差額のうち962万円を基金繰入金とした。一般質問にあさぎり町議会選出の橋本誠議員が登壇し、「上球磨消防組合管内の消防力強化」について吉瀬組合長に考えを質した。

人吉球磨広域行政組合議会

○11月24日（金）

第4回定例会が開催され、一般会計及び特別会計3件の平成28年度歳入歳出決算認定については、決算特別委員会委員長から審議結果についての報告があり、原案のとおり認定された。平成29年度一般会計・特別会計補正予算他5件についても原案のとおり可決された。

公立多良木病院企業団議会

○12月4日（月）

第5回定例会が開催され、条例改正6件、補正予算2件、議員発議1件を可決した。主なものとして、将来の地域医療を充実させるスタッフ確保のため公立病院に勤務する意思のある医療技術員等に貸し付ける奨学金給付の一部を改正する条例を制定した。補正予算は、緩和ケア病棟開設に係る器械備品購入費と人事異動、給与改定に伴う人件費等について。一般質問はタウンミーティングと健康フェスタの取組について愛甲開設者協議会長に考えを質した。





町民の声

感謝の気持ちをかたちに



免田 (下乙)
井上 幸生 さん

新年を迎え日々御活躍頂いております議員の皆様には大変お世話になります。昭和28年生まれ、今年65才となり、自分の人生を振り返ってみますと、大阪、人吉、球磨村、人吉と仕事の関係にて過ごして参りました。免田西に住んでおりますが、何一つ町に恩返ししていないことに大変申し訳なく思っております。何か少しでも役に立てればと思い、毎朝の子供達のバス停までの見守りを昨年の春より始めました。中学、高校生の自転車通学も結構見かけます。自転車道の段差、凸凹の所も有り、一つ間違えば重大事故に繋がります。何卒弱い立場のご年配の方々や子供達に、やさしい町作りをお願いし、県内一番の安全安心な町に私含めて取り組めればと思います。

あさぎり町に来て思うこと



深田 (庄屋)
武田 恵 さん

私は、人吉からこのあさぎり町に嫁いできました。3人の子供にも恵まれ、長女は昨年小学一年生になりました。

子育てをしている中で人吉にいる時には気づかなかったことをたくさん知ることができました。

まず一番最初に気づいたことは、人の優しさです。近所の人達も子供達と一緒に見守り互いに成長を見届けてくれているおかげでとても子育てがしやすいです。地区の婦人会にも誘っていただき、集まりの時には先輩ママ達から色んなアドバイスや情報交換もでき、とても助かっています。今年から家の仕事である葉タバコの生産を私も手伝うことになり、分からないこともあると思いますが自分なりに勉強しながら頑張っていこうと思います。

編集後記

明けましておめでとうございませう。新しい年を迎え皆様方に議員一同心よりお喜び申し上げます。今年の干支は犬であります。議会と執行部がしっかりと知恵を出し合い、町民の皆様の健康の宝、幸福の宝を掘り当てるべく、ここ掘れワンワンの気持ちで頑張ります。広報委員一同、今年も読み易い紙面づくりに取り組みます。町民の皆様のご一読をお願いいたします。

梅つぼみ 春告鳥の 声近し

(徳永正道)



編集・発行責任者

議長 山口 和幸

広報調査特別委員会

委員長 市岡 貴純
副委員長 難波 文美
委員 徳永 正文
小見田 和道
森岡 誠
橋本 誠



あさぎり町議会だよりはホームページでもご覧いただけます。

発行/あさぎり町議会 編集/議会広報調査特別委員会
〒868-0422 熊本県球磨郡あさぎり町上北1855番地
TEL(0966)47-0312・FAX(0966)47-0265
E-mail: syoki-gikai@asagiri.kumamoto.jp 印刷: 菊三協印刷